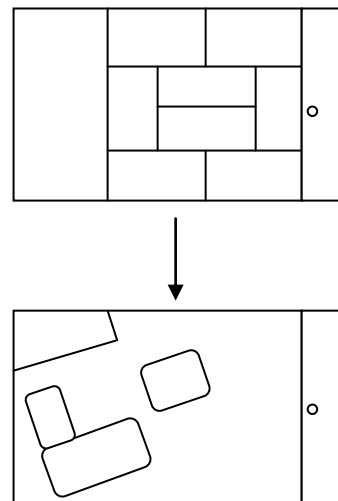


S 邸お座敷～セカンドリビング  
リノベーション



2010.1 nt

いまや家の中心はLDKになり、来客もリビングでもてなすことの多い現在、畳のお座敷は予備の部屋あるいは物置化していることも多いのでは？そこでそのお座敷をちょっとした休息やくつろぎに使える“セカンドリビングルーム”にしたのが今回のリノベーションです。

当初は大々的にイメージを変えるご希望でしたが、築40年の和室はやはり落ち着く貴重な空間。凝った作りの天井や幅2間もある床の間のゆとり、本物の材質で作られた重みは捨てがたいものでした。そこでイメージは「湯布院の古民家宿」、壁と天井は補修だけにとどめ、畳間と広縁の間仕切りをなくして床をウォールナットのフローリングに張り替え、ソファを斜め置きにゆったりと配置、民芸調のAVボードをコーナーに作りました。ソファに座ってゆっくりとテレビを見ながら、目を転じると床の間の風情が心を落ち着かせます。小さなリノベーションと家具の配置だけですが、使い道が広がり、和室の良さが見直された例となりました。

Renovated walnut wood floor from Tatami mat to furnish sofa and TV set for new idea of “Second Living Room”.

Wall ,ceiling and Tokonoma display space are just restored to conserve elaborate Japanese interior design with beautiful materials.